

■河上彦齋 志士。佐久間象山の暗殺を皮切りに、テロ活動続け“人斬り彦齋”と呼ばれた。

かわかみげんさい

高島砲術・・・1834＝ 肥後国飽田郡で、小森貞助の次男に生まれる。幼名は彦次郎、実名は玄明。

大塩平八郎乱1837＝ 3歳：

順天堂始・・・1843＝ 9歳：

天保改革終・・・1844＝10歳：この頃、肥後藩士河上彦兵衛の養子となる。

阿部正弘首座1845＝11歳：

北斎没・・・1849＝15歳：熊本城下御花畑のお掃除坊主に召抱えられる。

尊徳報徳論・・・1851＝17歳：藩主の参勤交代のお供で江戸へ行き、家老付き坊主補助として勤める。

万次郎帰国・・・1852＝18歳：藩主のお供で熊本に帰国。謹直が認められ、そのまま家老付き坊主となる。

ペリー来航・・・1853＝19歳：この年、ペリーの黒船来航。

五ヶ国条約・・・1858＝24歳：再び江戸へ。この年、井伊直弼が大老になり、

安政の大獄・・・1859＝25歳：吉田松陰・頼美樹三郎・橋本佐内らが処刑され(安政の大獄)、

桜田門外変・・・1860＝26歳：桜田門外の変で、井伊大老が暗殺されるという激動を体験し、

遣欧使節・・・1861＝27歳：藩主に従って熊本へ帰国。同藩士三沢家の次女天為と結婚(文献によっては18歳の時)。奥州浪人清河八郎と会い、大いに共鳴、

生麦事件・・・1862＝28歳：京都警備の要請に上京する長井護美に同行。坊主職が解かれて蓄髪を許され、河上彦齋と改名。

8月18日政変・・・1863＝29歳：八月十八日の政変で長州藩が京を追いやられと、脱藩して長州と行動を共にする。

禁門の変・・・1864＝30歳：\*長州滞在中、京で宮部鼎蔵・松田重跡らが新撰組に斬られた事(池田屋の変)を聞き、憤慨して上洛、公武合体を計る佐久間象山を暗殺後、禁門の変で長州藩家老の国司信濃隊に付いて戦うも敗れ、長州へ退く。

藩長同盟・・・1866＝32歳：\*第二次征長戦(四境戦争)では高杉晋作の奇兵隊に呼応するも、長州藩が小倉で肥後藩と戦う事に耐えられず、藩主を説得するべく肥後へ帰国したもの、聞き入れられず投獄される。

大政奉還・・・1867＝33歳：\*新政府が誕生し、出獄。名を高田源兵衛と改める。旧同士らが牛耳る新政府の政治方針に愕然とする。

明治維新・・・1868＝34歳：

戊辰戦争終・・・1869＝35歳：藩命で肥後領の飛び地鶴崎へ行き、兵隊長となりその本営を{有終館}と名づける。元同士の奇兵隊の生残り津守幹太郎等から奇兵隊統括を頼まれるが断る。

初の日刊新聞1870＝36歳：反政府的な一大軍隊となりつつある事を恐れられ、藩命により、{有終館}を解散させられる。

廃藩置県・・・1871＝37歳：\*新政府に対する不満から、奇兵隊が反乱を起こすも失敗に終わり、大楽源太郎以下奇兵隊の生き残りを匿った罪で投獄、東京へ護送され、一度の審問もないまま、死刑判決が下され、斬首された。